

# 受 託 事 業

## I 歴史関連事業及び歴史関連施設の管理運営の受託

### 1 本館管理運営

東京都江戸東京博物館の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

### 2 たてもの園管理運営

江戸東京たてもの園の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

### 3 博物館ボランティア

市民とのコミュニケーションを豊かにし、市民の協力や協働のもとに生涯学習社会にふさわしい市民に親しまれる開かれた博物館を目指して館の活性化を図るため、江戸東京博物館（本館）では平成9年10月1日、江戸東京たてもの園（分館）では平成8年12月4日からボランティア制度の試行実施を行った。

本年は、本館264名、分館192名体制により、本館では9,034件のガイド、分館では茅葺き農家の燻煙及び団体案内ガイド、自主活動等を行った。

#### (1) 本館ボランティア

##### ① 登録人数（平成20年3月31日現在）

264名（展示ガイドボランティア239名、ふれあいボランティア25名）

##### ② 活動日時

火曜日～日曜日（開館日） 10:00～16:00

毎日15人程度のグループで活動

##### ③ 活動内容

日本人及び外国人来館者に対する案内、団体来館者に対する事前案内

日本語、英語、ドイツ語、中国語、フランス語、ハンガール語、スペイン語、ロシア語

江戸東京の伝統・文化に関するワークショップ（「ふれあい体験教室」）の運営

##### ④ 対応件数（平成19年4月～20年3月）

外国語による案内件数 3,749件

日本語による案内件数 5,157件

団体事前案内件数 54件

下見（実踏）の案内件数 6件

子ども相談対応 2件

スポット解説 66件

##### ⑤ ふれあい体験教室

ふれあい体験教室実施数 52件

ふれあい体験教室参加者数 2,102人

⑥ ボランティア対象の研修

研修実施回数 30回

研修参加者数（延べ人数） 1,127人

ふれあい体験教室 実績一覧		
日程	内容	人数
4月7日	和算のひみつ	30
4月15日	歴史散歩「谷中寺町」	17
4月21日	和算のひみつ	42
4月28日	藍染め体験	50
5月4日	風車をつくろう	36
5月5日	ときめきキモノ体験	38
5月5日	万華鏡をつくろう①②③	51
5月19日	和算のひみつ	66
5月26日	浮世絵をくみたてよう	31
6月3日	歴史散歩「神田上水と日本の庭園（武家下屋敷）を歩こう」	14
6月21日	和算のひみつ	46
7月7日	和算のひみつ	65
7月7日	（個別）歌舞伎ワークショップ	45
7月21日	ときめきユカタ体験	58
7月28日	藍の生葉染め体験	24
8月4日	和算のひみつ	53
8月4日	歌舞伎隈取体験	13
8月5日	ときめきユカタ体験	70
8月5日	なぜなにレクチャー「からくり自動車」①②	49
8月5日	ぎやまん彫りに挑戦①②③	48
8月14日	和算のひみつ	70
8月18日	ときめきユカタ体験	45
8月18日	親子でしらべる風船爆弾と勤労働員	6
8月19日	浮世絵摺り体験	20
8月26日	万華鏡をつくろう①②③	59
8月26日	親子工作教室「江戸時代の棹秤をつくろう」	38
8月26日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	93
9月12日	藍の生葉染め体験（大人向け）	13
9月15日	和算のひみつ	35
10月6日	和算のひみつ	41

10月7日	歴史散歩「佃島と石川島を歩こう」	13
10月20日	藍染め体験	50
10月27日	ふれあい交流会	100
10月28日	歴史散歩「夏目漱石ゆかりの景観を訪ねて」	13
11月9日	江戸切子	7
11月10日	和算のひみつ	96
11月10日	江戸切子	29
11月11日	ときめきキモノ体験	41
11月11日	江戸切子	20
12月1日	ぼち袋をつくろう	34
12月1日	歌舞伎隈取体験（大人向け）	15
12月8日	体験茶席	39
12月22日	和算のひみつ	46
1月5日	和算のひみつ	63
1月12日	ときめきキモノ体験	21
1月12日	お正月の凧づくり	30
2月2日	和算のひみつ	51
2月17日	ぎやまん彫りでフォトフレームに挑戦！	37
3月1日	和算のひみつ	58
3月16日	ときめきキモノ体験	29
3月16日	江戸東京博物館見学と両国史跡散歩	16
3月22日	体験茶席	27

(2) たてもの園ボランティア

① 登録人数（平成20年3月31日現在）

- 正規ボランティア「ひじろ会」 192名（女性70名、男性122名）  
火曜日班31名、水曜日班33名、木曜日班33名、金曜日班31名、  
土曜日班32名、日曜日班32名
- 臨時ボランティア 40名

② 活動日時

火曜日～日曜日及び臨時開園日 10:00～17:00

（10月から3月は16:00まで）

③ 活動内容

○ 正規ボランティア

茅葺き農家の燻煙と周辺整備…4棟（吉野家、八王子千人同心組頭の家、天明家、  
綱島家）

案内ガイド（団体・見所案内・建造物ごと・定時）

たてもの園事業への参画（催事の企画・実施、学校連携事業、年中行事等）

自主活動の実施（写真館での撮影、藁細工、風車作り、紙芝居、盆栽、農園作業等）

○ 臨時ボランティア

催事の支援

正規ボランティアの活動支援

④ 対応件数等

茅葺き農家の燻煙と周辺整備（休園日を除き毎日）

団体案内ガイド 218件 6,725人

ボランティア自主活動 21種 870回

⑤ その他

正規ボランティアは10回の勉強会と、群馬県富岡製糸工場跡への見学会など2回を企画・実施した。

4 資料収集

(1) 本年度は昨年に引き続き、常設展・特別展・企画展に有効に利用される資料、及び利用頻度が高く保全面で留意する必要がある資料を優先し、資料総体の消耗を防ぎつつ、魅力ある博物館運営を図れるよう、資料購入を行った。

また寄贈資料についても申出の中から厳選して、収集している。

第1回収蔵委員会（11月29日）では購入資料を中心に付議し、第2回収蔵委員会（1月29日）では、寄贈資料を中心に付議した。

19年度収集委員会付議点数

（単位：点）

区分	購入	寄贈	その他	計
標本資料	617	2,279		2,896
図書資料	671	0	4,233	4,904
映像音響資料	44	244		288
合計	1,332	2,523		8,088

(2) 主な収集資料

分類	資料名	入手方法
工芸品	刀 無銘	購入
工芸品	付 黒漆笛巻塗鞘打刀拵	購入
工芸品	梨子地木目文星梅鉢紋散刀筒	購入
工芸品	村梨子地葉菊紋散蒔絵耳盥	購入
工芸品	村梨子地葵葉菊紋散花桐唐草文蒔絵茶椀 付天目台	購入
工芸品	紺綸子地松竹梅鶴模様振袖	購入
工芸品	白麻地御所解模様帷子	購入

絵画	縁台	購入
絵画	風流江戸八景 両国橋の夕照	購入
絵画	当時全盛美人揃 若松屋内若鶴	購入
絵画	青楼遊君合競 岡本屋内志那照 佐屋形	購入
絵画	田圃道の遊山	購入
絵画	江戸名所百人美女の内 海晏寺	購入
絵画	川瀬巴水木版画	購入
文書類等	幕臣井上貫流左衛門家文書	購入
静止画	幻灯スライド	購入
絵画	東京高輪海岸蒸気車鉄道ノ図	購入
生活民俗	紀元 2600 年記念 日本万国博覧会 抽籤券附回数入場券	購入
生活民俗	東京オリンピック日本代表選手公式ブレザー	寄贈
静止画	スバル 360 と吉葉山写真他	寄贈
生活民俗	ダットサントラック G222 型	寄贈
文書類	震災日記	寄贈
文書類	蛭川家雛道具目録	寄贈
文書類等	戦後生活関係資料	寄贈
生活民俗等	山岸会水関係資料	寄贈
生活民俗	高射機関砲	寄贈
生活民俗	紙芝居他	寄贈
生活民俗	女学生の慰問文と慰問袋	寄贈
文書類等	金沢丹後文書	寄贈
文書類等	旗本土方家文書	寄贈
文書類等	四谷塩町二丁目町家関係資料	寄贈

## 5 資料制作

### (1) 複製資料

- ①資料名 熙代勝覧(表具)  
点 数 1点  
説 明 文化年間の江戸の様子を描いた絵巻物。江戸の風俗を知るのに最適の資料である。平成18年度に制作(印刷)した複製資料が未表装なので、表具することで、展示の利便性をはかる。常設展「町の暮らし」コーナーで展示予定。
- ②資料名 変化朝顔  
点 数 3点  
説 明 文化年間から幕末にかけて流行した変化朝顔。江戸の園芸文化を知るのに最適の資料である。常設展「文化都市江戸」コーナーで展示予定。
- ③資料名 練馬大根・小松菜

点 数 6点  
 説明 練馬大根と小松菜は江戸で流通した野菜で、それぞれ練馬と小松川地域で栽培された。江戸町民の食の需要を支えた野菜は、鮮度を保ったまま市場に流通させる必要があり、江戸近郊の重要な産物だった。常設展「江戸と結ぶ村と島」コーナーで展示予定。

④資料名 白魚  
 点数 50点  
 説明 白魚は江戸の名産で、春先に深川の漁師が隅田川の河口付近で四手網を使い、漁をした。その風景は錦絵に多く描かれ、白魚は江戸幕府へ献上された。常設展「江戸と結ぶ村と島」コーナーで展示予定。

⑤資料名 髪結び雛形  
 点数 6点  
 説明 江戸時代、日本髪の結髪は数百種に及んだといわれる。結髪の形は、地域や時代、年齢、職業、身分、未婚・既婚の別などで違いがあった。常設展の江戸ゾーンで展示予定。また、今回は江戸時代の女性の結髪を制作したが、次年度以降も男性、子供、明治時代以降の髪型の雛形を制作し、系統立てて展示することが可能である。

## 6 資料管理・保全

### (1) 資料の修理

81件（104点）の修理を行った。

#### 【内 訳】

資料分類	件数	点数	資料分類	件数	点数
標本資料	81	104	図書資料	1	76
絵画	25	48	図書	1	76
建造物	1	1			
工芸品	5	5	映像音響資料	0	0
古文書類	48	48	映像	0	0
印刷物	2	2			

### (2) 資料の収蔵

平成20年3月末日現在、528, 571点（データ点数）を収蔵、管理している。

#### 【内 訳】

標本・映像音響資料 331, 597点

図書資料 196, 974点

### (3) 資料の貸出

平成20年3月末日現在、博物館等の依頼に応じて、28件(229点)の資料を貸し出した。

(4) 収蔵庫の棚卸し

9,682点の資料の確認作業を行った。

棚卸し対象資料

生活民俗収蔵庫1 1,412点(軍事関係紙資料)

生活民俗収蔵庫3 8,270点(生活民俗紙資料)

(5) 寄託資料の更新

武蔵野文化協会 4,182点(江戸時代の版本・写本等)

三浦太郎 11点(宮大工祭礼用具等)

(6) 資料目録の作成

収蔵資料の浴衣染めの型紙の目録「東京都江戸東京博物館資料目録 長板中形型紙Ⅰ・Ⅱ」を1,000部作成した。

7 常設展示

江戸東京博物館5・6階の常設展示室(8,934㎡)において、定期的に展示替えを計24回行った。常時約2,000点の資料を展示するとともに、企画展や特集展を実施している。その際、展示資料の管理、温湿度等展示環境の維持を行っている。さらに、常設展の賑わい・楽しさを演出した「えどはく寄席」、テーマ性を持って展示解説をする「ミュージアムトーク」を定期的に開催している。また、外部機関と協力し、企画展「ロマノフ王朝と近代日本」展、「新発見考古速報展」、「東北大学の至宝」展、「川上不自と江戸千家」展、「北斎漫画」展、特集展「後藤新平展」を開催した。

(1) 企画展 7回

名 称	会 期	会 場
ロマノフ王朝と近代日本展	4月10日(火)～5月27日(日)	第2企画展示室
発掘された日本列島2007 新発見考古速報展	6月5日(火)～7月15日(日)	第2企画展示室
市民からのおくりもの2007展	7月24日(火)～8月19日(日)	第2企画展示室
東北大学の至宝－資料が語る1世紀－	9月1日(土)～10月14日(日)	第2企画展示室
川上不自と江戸千家展	10月23日(火)～12月16日(日)	第2企画展示室
北斎漫画展	2008年1月2日(水)～2月11日(月・祝)	第2企画展示室
没後50年記念 川瀬巴水展－東京風景版画－	2月19日(火)～4月6日(日)	第2企画展示室

## (2) 特集展 7回

名 称	会 期	会 場
東京オリンピックとその時代	2007年2月27日(火) ～2008年3月30日(日)	5階
風船爆弾と勤労働員展	4月17日(火)～12月9日(日)	5階
はかる道具展－江戸時代の度量衡	4月24日(火)～10月21日(日)	5階
生誕150周年記念 後藤新平展	7月24日(火)～9月9日(日)	6階
太田道灌とその時代展	9月12日(水)～10月21日(日)	6階
家康・吉宗・家達～転換期の徳川家～	2008年2月5日(火)～3月23日(日)	6階
江戸の華～熱き心・火消と祭～	3月25日(火)～7月6日(日)	6階

## (3) 常設展の賑わい・楽しさの演出

## ①「えどはく寄席」(毎土・日曜日、祝日の12:00～12:30、13:30～14:00)

客数：39,246人

中村座前で、落語、新内、相撲甚句、かつぽれ、女義太夫、邦楽などを実演し、伝統芸能の継承・普及と若手芸人の育成を図る。

## ②正月の催し(1月2日～1月7日)

客数：3,550人

獅子舞、祝儀舞など正月らしいパフォーマンスを5階常設展示室・中村座前と1階ロビー等でを行うほか、からくり実演、箏曲演奏等を実施。

## ③ミュージアムトーク(毎週金曜の16:00～16:30)参加者数：1,576人

学芸員による展示解説。企画展や特集展などの特別企画の他、常設展示各コーナーにおける展示内容を詳しく紹介する。

## 常設展観覧者実績

区 分	平成19年度(B)	対前年比(A/B)	平成18年度(A)
一 般	363,156人	84%	432,265人
学 生	29,466人	92%	32,083人
高校生、都外中学生	58,183人	90%	64,501人
65歳以上	94,200人	88%	107,449人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動、視察)	342,645人	80%	430,928人
合 計	887,650人	83%	1,067,226人
1日あたり観覧者数	2,783人	82%	3,378人

## 8 コンピュータシステム（資料情報システム）の運営

資料の収集から資料の各種事業(常設・企画展示、調査研究、資料のメンテナンス、貸出等)への活用までを支援するとともに、来館者に対して図書室の端末等により資料の情報を文字と画像で提供するため、コンピュータシステム(情報システム)の管理及び運用を行う。

平成19年度及び20年度の2年間で、基本ソフトをOS2からWindowsに変更し、あわせてシステムのリニューアルを行う。

## 9 AVシステム（映像音響システム）の運営

「館内CATV」「文字ディスプレイ」及び「展示解説システム」により施設・催事案内や常設展示の解説を行うとともに、「映像ホール」「映像ライブラリー」において江戸東京に関連する映像ソフトを提供した。

今年度は「映像ライブラリー」のリニューアルを行い、映像ソフトの視聴のみでなく、江戸博の収蔵品検索などコンピュータシステムと接続できるようにし、利用者の利便性を高める(リニューアルのため、1月8日～3月24日に休室した)。

### (1) 映像ホール

上映回数	1日8回(土曜日9回)上映
入場者数	39,584人(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

### (2) 映像ライブラリー

設置ブース数	14台(14人利用可)
映像ソフト数	397タイトル(平成20年3月31日現在)
入場者数	51,551人(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

### (3) 収蔵庫からのメッセージ

設置台数	5台
映像入力数	36,130枚(内14,515枚公開)(平成20年3月31日現在)

### (4) Web版収蔵庫からのメッセージ

映像入力数	7,741点(平成20年3月31日現在)
-------	----------------------

## 10 図書室の運営

博物館資料として収集した図書の保存及び来館者への閲覧、レファレンスサービスを行った。

図書室利用状況

入室者数	34,830人(平成19年4月1日～平成20年3月31日、以下同)
閉架図書請求	3,435冊

マイクロフィルム請求	469件
複写請求	18,949枚
マイクロフィルム複写	4,561枚
レファレンス	2,587件
インフォメーション	1,275件
利用者数	38,692人（入室者数+レファレンス+インフォメーション）

## 1.1 野外収蔵（分館「江戸東京たてもの園」）

平成20年3月31日現在、27棟を公開している。なお移築対象建造物の復元工事は休止している。

### (1) 入園者実績

区 分	平成19年度(A)	対前年比(A/B)	平成18年度(B)
一 般	104,513人	95.5%	109,394人
大学生・専門学校生	10,364人	90.0%	11,520人
高校生、都外中学生	3,086人	90.8%	3,397人
65歳以上	29,807人	95.4%	31,237人
無料観覧者 <small>(小学生、都内中学生、教育活動等)</small>	110,294人	107.5%	102,619人
合 計	258,064人	99.9%	258,167人
1日あたり観覧者数	827人	99.6%	830人

### (2) 特別展

今年度は、地域の歴史・民俗に関するものや、たてもの園として初めて自然系の展覧会も行った。

#### ①「新東京百景展」

期 間 平成19年3月27日（土）～5月6日（日）

内 容 新東京百景（昭和4年と昭和57年製作）シリーズを建造物を中心に紹介するとともに、都市の変化を概観

入園者 70,070人

#### ②「旧武蔵野郷土館資料展示」

期 間 平成19年5月19日（土）～7月1日（日）

内 容 旧武蔵野郷土館で所蔵していた考古資料を中心に「東京以前」の東京の姿を紹介する。

入園者 26,627人

#### ③「東京昆虫ワンダーランド 海野和男の昆虫の世界」

期 間 平成19年7月18日（水）～9月9日（日）

内 容 昆虫写真家として著名な海野和男氏が撮影した作品の中から東京の昆虫を中心

に 80 点を展示。また、昆虫の生態を紹介する映像も上映。

入園者 36,497人

④「玉川上水と分水展」

期 間 平成19年9月22日（土）～11月25日（日）

内 容 江戸時代から現代に至るまで、市民の飲料水として利用されてきた玉川上水について、上水が果たした役割について考える。

入園者 51,809人

⑤「移りゆくくらしの歴史 いろりから DK へ」

期 間 平成19年12月8日（土）～平成20年3月9日（日）

内 容 移りゆく時代の流れのなかで変わってきた生活様式について、身の回りの生活の変化がどのようなものであったかなどを、台所道具を中心に展示。

入園者 41,080人

(3) 伝統工芸の実演

江戸東京に残る伝統工芸の実演を行った。

期 間 平成19年4月～20年3月のうち24日間

会 場 江戸東京たても園 植村邸、川野商店他

内 容 東京手描き友禅、和裁、江戸指物、のれん染、江戸扇子、つまみかんざし、彫金、木版画摺師、江戸切子、飴細工、帯仕立て、べっ甲、木彫（透かし彫り）、東京籐工芸、村山大島紬

観覧者数 当日入園者（37,945人）

(4) 情景再現事業

情景再現事業の一環で、季節ごとの催しとして、春「子どもの日」、夏「下町夕涼み」、冬「はらっぱ大会」などの各イベントを行った。

①「子どもの日イベント」

内 容 買い物ゲーム、泥団子づくり、チャンバラ、兜・風車づくりなど、昭和の子供たちの遊びを再現。

期 間 平成19年5月4・5日（金・土）

会 場 園内全体

参加者数 9,049人

②「七夕折り紙教室」

内 容 茅葺き民家で折り紙づくりや短冊に願い事を書き込むなどの体験講座。また紙芝居なども実施。

期 間 平成19年6月30日（土）・7月1日（日）の2日間

会 場 西ゾーン 吉野家

参加者数 120人

③「小暑のつどい」

内 容 朝顔、ほおづきの鉢植えの販売や浴衣の展示などで初夏の風情を再現。

期 間 平成19年7月6～8日（金～日）の3日間

会 場 園内及び子宝湯

参加者数 3,348人（当日来園者）

④「下町夕涼み」

内 容 盆踊り、寄席、夜店などによる夏の夕涼みの風情を再現

期 間 平成19年8月4・5日（土・日）

会 場 園内全域

参加者数 13,528人（当日来園者）

⑤「たてものとのりもの」

内 容 たてもの園に合った国産のクラシックカーの展示。人力車などの体験も行う。

期 間 平成19年9月16・17（日・月祝）

会 場 園内全域

参加者数 5,126人（当日来園者）

⑥「体験！発見！職人さん」

内 容 東京の伝統工芸士を招いて、体験したり見学したりする。

期 間 平成19年11月3・4日（土祝・日）

会 場 東ゾーン及び復元建造物の公開

参加者数 3,547人（当日来園者）

⑦「クリスマスリースづくり」

内 容 園内の樹木を使ってクリスマスリースをつくる体験講座

期 間 平成19年11月24・25日（土・日）

会 場 ビジターセンター、田園調布の家

参加者数 28名

⑧「正月飾りづくり」

内 容 藁を使った注連縄をつくる体験講座

期 間 平成19年12月8・9日（土・日）

会 場 東ゾーン プレハブ

参加者数 133人

⑨「正月遊び」

内 容 書き初め、餅つきの実演など正月ならではの催しを実施。

期 間 平成20年1月5・6日（土・日）

会 場 園内全体

参加者数 3,448（当日来園者）

⑩「はらっぱ大会」

内 容 ベーゴマ大会、チャンバラ大会、足湯、いろりでの湯茶のサービスを実施。

期 間 平成20年2月10・11日（土・日）

会 場 東ゾーン はらっぱ  
参加者数 3, 123人 (当日来園者)

⑪「春先キモノ日和」

内 容 「和の装い」をテーマに着物の着付けサービスやふろしき体験講座、着物の販売などを行う。

期 間 平成20年3月24・25日 (土・日)

会 場 園内全体

参加者数 4, 296人 (当日来園者)

(5) 学校連携事業

「藍の育成と藍染め体験」「昔の暮らし体験」「ひじろっ子 (子どもボランティア)」「教員研修」「教員初任者研修」「校外学習」「職場体験」を実施した。

①藍染め体験

建染めを行い、染色体験をした。

参加校：8校

②昔の暮らし体験

園内茅葺き民家内などで、石臼での粉ひきや火鉢体験、雨戸の開け閉めなどを体験するほか、昔の道具探しなどを実施した。

参加校：60校

③子どもボランティア「ひじろっ子」

夏休み期間中に、小学生の「小さな社会貢献」として茅葺き民家の掃除、民家の解説、独楽や竹馬などの遊びの指導、小金井公園桜守とともに桜の調査などを行った。

また、イベント時にはボランティアとして園の事業を支援した。

参加人数：69人

④教員研修

小金井市、国分寺市、小平市、西東京市等の教員に対し、学校連携での活用方法等の研修を行った。

参加人数：100人

⑤教員初任者研修

小金井市、小平市の教員初任者に対して、3日間の学校外活動 (ボランティア活動) として、当園ボランティア活動に体験参加した。

参加人数：6人

⑥校外学習

都立高校生がボランティア活動及び体験学習を行った。

参加人数：82人

中学生が各自テーマに沿った調べ学習を行った。

参加人数：28名

⑦職場体験・職場訪問

中学生が職場を訪れ、体験やインタビュー等により、仕事について学んだ。

参加人数：26人

1.2 調査・研究

(1) 年間特定研究

①「隅田川流域の歴史と文化」

- ・小澤 弘「宴遊日記にみる浅草」
- ・市川寛明「江戸の堀割管理と大名課役 ―江戸城御堀浚を事例に―」
- ・石山秀和「浅草寺境内における諸芸興行について」
- ・高山慶子「本所深川の支配制度に関する研究」
- ・田原 昇「本所奉行・町奉行本所方に関する研究」
- ・米山 勇「隅田川流域における近代建築」
- ・行吉正一「隅田川流域を描いた近代文学作品」

②「城郭都市 江戸と江戸城」

- ・小澤 弘「将軍世子と山王社参」
- ・市川寛明「江戸城大手門の警衛と人宿」
- ・近松鴻二「登科録の研究」
- ・田原 昇「江戸城内の章係「五役の者」の人員配置」
- ・齋藤慎一「戦国～近世初期における江戸の都市空間と城郭構造」

(2) 共同研究

①「狩野文庫の共同研究」（東北大学）

- 小澤弘「江戸の遊芸」
- 市川寛明「展覧会実施にかかわる基礎調査」
- 石山秀和「狂歌本「手習鑑」の調査」
- 高山慶子「江戸関係絵図の調査」
- 田原 昇「旗本家文書の調査」
- 近松鴻二「狩野文庫所蔵の江戸図について」

②「川村清雄に関する共同研究」

- 小澤 弘・市川寛明・落合則子「旧幕臣川村清雄関係資料の調査研究」

③「紀州藩中屋敷に関する共同研究」（和歌山県立博物館・和歌山市立博物館）

- 小澤弘・赤澤真理「紀州徳川家江戸中屋敷奥向梅之間に関する考察 ―紀州徳川家上邸梅御殿窺草」の検討を中心に―

④「江戸と大阪の比較都市研究」（大阪市立博物館）

- 田原 昇「都市の中の江戸城」

平成20年3月23日（日）、大坂歴史博物館で開催された共同研究シンポジウム「城下町大坂を考える」における研究報告

(3) 基盤研究

- ・行吉正一「館蔵〈喜多川コレクション〉の全貌」
- ・高山慶子「館蔵〈安政見聞誌〉について」
- ・田原 昇「館蔵〈安政二卯年 年番取扱覚〉について」

(4) シンポジウムの開催

①「太田道灌と城館の戦国時代」

太田道灌江戸城築城550年と深大寺城の国指定史跡となることを記念して、江戸城など戦国時代前半の城館を考えることを目的としたシンポジウムを開催した。本シンポジウムの開催にあたっては、葛飾区郷土と天文の博物館および埼玉県立嵐山史跡の博物館が開催するシンポジウムと連携した討論の場を設けた。また本シンポジウムの関連企画としてフォーラム「戦国社会のイメージ」（平成19年10月20日）、連続講座「戦国時代の関東を考える」（全7回）を、えどはくカルチャーの枠で実施した。

開催日 平成20年3月8日（土）

会場 江戸東京博物館 1階大ホール

参加人数 360人

第1部 「3館連携シンポジウム『最新成果！戦国城館』成果報告」

シンポジウム「葛西城と古河公方足利義氏」要旨 谷口栄（葛飾区郷土と天文の博物館）

シンポジウム「後北条氏の城 ―合戦と支配―」 浅野晴樹（埼玉県教育委員会）

第2部 個別報告

「太田道灌と江戸城」 齋藤慎一（江戸東京博物館）

「石神井城・練馬城の調査」 都築恵美子（練馬区教育委員会）

「深大寺城の調査」 生田周治（調布市郷土博物館）

第3部 パネルディスカッション 司会：齋藤慎一

②「チャレンジCGプロジェクト 江戸の町並みをつくる」

これまでのCGによる「歴史的町並みを復原する試み」では、精密な再現・復原が主流であった。その方法では、リアリティのある町並みをつくることができるが、作成に膨大な時間を要する。そこで、短時間で大規模な町並みをつくるため、簡易な建物モデルを大量に、かつ自動的に並べて、そこに町並みの特性を付加し、全体を構成するという新しい方法を提起するシンポジウムを開催した。

開催日 平成20年3月12日

会場 江戸東京博物館 会議室

参加人数 62人

(5) 書籍の編集・刊行

①『調査報告書』第20集の刊行

平成19年3月31日までに収集してきた地図・絵図類のうち、江戸時代に作成された

絵図627点、複製絵図90点を加えた717点の館蔵絵図目録。

名 称 『館蔵地図目録Ⅰ 江戸の地図』  
発行年月日 平成20年3月31日  
発行部数 1,000部  
構 成 第1部 江戸の地図 原図と詳細複製図  
第2部 江戸の地図 近代印刷技術による複製図

②『研究報告』第14号の刊行

江戸東京博物館で平成19年1月に開催されたシンポジウム「江戸城研究の新視点」における研究成果を公表するため、『東京都江戸東京博物館研究報告』第14号を刊行した。

発行年月日 平成20年3月31日  
発行部数 1,000部  
構 成

I. シンポジウム「江戸城研究の新視点」特集

第1部 「発掘調査からみた江戸城」

後藤宏樹（千代田区立四番町歴史民俗資料館）「織豊期の城郭瓦と江戸城」

加藤理文（織豊期城郭研究会）「織豊城郭としての江戸城」

中井 均（織豊期城郭研究会）

第2部 「江戸城の経営と消費」

大口勇次郎（お茶の水女子大学名誉教授）「問題提起 ～経済システムとしての江戸城～」

松尾美恵子（学習院女子大学）「将軍家奥向の経済－御用取次見習の記録から」

太田尚宏（徳川林政史研究所）「江戸城における消費物資の調達について」

市川寛明（東京都江戸東京博物館）「江戸城大手門の警衛と人宿」

田原 昇（東京都江戸東京博物館）「江戸幕府「五役」の人員補充－部屋住御雇と公儀人足を事例に－」

II. 研究ノート

丹野美子：「名主斎藤月岑の地震記編纂 －江戸東京博物館蔵「安政見聞誌」をめぐって－」

III. 史料紹介

松尾美恵子・小宮山敏和：史料紹介「年番取扱覚」について

高山慶子・丹野美子：史料紹介「安政見聞誌」について

(6) 学芸員実習の受け入れ

将来の博物館を担う人材の育成と、当館の博物館活動の社会還元のために、学芸員資格取得に必要な博物館実習を受け入れた。

申込み数 47校  
受入者数 22名  
期 間 8月20日(月)～8月31日(金)

カリキュラム

	実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
1	8月22日 (月)	午前	【オリエンテーション】 館長挨拶・概要説明・館内外動線 及び主要施設案内・自己紹介	講義・見学	都市歴
		午後	【管理施設】管理施設案内	講義・見学	管理係
			【企画展示】企画展示ができるまで	講義・見学	展示係
2	8月21日 (火)	午前	【図書室の運営】 図書室・図書資料の概要と見学	講義・見学	資料図書係
		午後	【常設展示（1）】常設展示の 概念	講義	展示係
			【常設展示（2）】常設展示の見学	見学	
3	8月22日 (水)	午前	【営業活動】営業活動について	講義・見学	展示係
		午後	【映像施設の運営】 映像施設の概要と見学	講義・見学	
			【資料の保管・管理】 資料の保管の方法（クリーニング 実務など）、管理システム	講義・実習 見学	資料図書係
4	8月23日 (木)	午前	【ボランティア活動】 ボランティア解説体験（受け手側）	見学体験	展示係
		午後	【ボランティア活動】 博物館ボランティアについて	講義	
			【たてもの園（於本館）】 園概要説明、移築復元の講義	講義	たてもの園
5	8月24日 (金)	午前	【たてもの園（於：たてもの園）】 建物現場見学	見学	たてもの園
		午後	【たてもの園（於：たてもの園）】 園内業務実習、自由見学	実習・見学	
6	8月27日 (月)	午前	【教育事業】教育事業の概要	講義	実習PT
		午後	【常設展示】 常設展示替え作業の見学・解説	見学	展示係
			【第2週目オリエンテーション】 2週目概要説明・館長挨拶	講義	都市歴
7	8月28日 (火)	午前・午後	【資料の収集・取扱い】 標本資料の取扱い（軸・卷子） 資料カードの作成 資料写真撮影	実習	展示係 実習PT
8	8月29日 (水)	午前・午後	【展示実習】会場設営	実習	展示係
			【展示実習】展示テーマ検討		実習PT
9	8月30日 (木)	午前・午後	【展示実習】 キャプション作成・展示作業	実習	展示係
			【展示実習】展示作業		実習PT
			【展示実習】批評会		
10	8月31日 (金)	午前	【広報実習】広報計画作業	実習	普及係
		午後	【広報実習】発表会		実習PT
			【学芸員実習のまとめ】 実習総括（室長・副館長）	講義	都市歴

(7) その他の研修受入

- ①東京都新入職員研修 平成19年4月16日(600名)
- ②東京都教職員10年目研修 平成19年7月24日～26日(4名)
- ③首都大学東京の学生研修 平成19年9月11日～13日(3名)
- ④東京未来塾(東京都教育庁)平成19年8月7日～9日、14日～16日(4名)
- ⑤都立一橋高校連携授業 前期2回、夏期3回、後期2回(計7回)
- ⑥パリ市チェルヌスキー美術館学芸員 ミッシェル・モキユエール氏 交換研修受入  
平成19年10月10日～11月22日

(8) 博学連携

当館の入館者増とリピーターの確保及び平成14年度から実施された完全学校週五日制と「総合的学習」に対応するため、博物館と学校との連携事業を展開した。当館を学習の場として希望する生徒を対象に「訪問学習」を実施した。

平成18年度から、都内中学校で要請があった学校からの「職場体験」の依頼にも対応を始め、主に常設展示室の体験コーナーでの昔遊び実演補助などの体験機会を提供している。

①訪問学習の実施

博学ボランティア(11名)ー歴史学習対応

学芸員ー職場訪問、平和学習対応

参加人数 673人

参加学校数 89校(中学校82、高等学校7)

②職場体験の実施

参加人数 23人

参加学校数 11校(中学校)

1.3 地域子ども教室推進事業(分館)

江戸東京寺子屋実行委員会「武蔵野えどまる団」

文部科学省が推進している「地域子ども教室推進事業」の一環として、“遊び”を軸にし、江戸東京たてもの園のボランティアや近隣のサークル、大学生などの地域諸団体と実行委員会を組織し、〈子どもの居場所〉を作る活動を展開した。

内 容

指令30 平成19年 4月 かえっこバザール in たてもの園

指令31 5月 風雲えどまる城～王国騒乱

ーチャンバラ大会ー

指令32 6月 えどまるカップ2 ソフトサッカー&フレフレ大作戦

指令33 7月 ガンガン THE 盆踊りII

指令34 8月 地球を救え!打ち水大作戦

指令35 9月 えどまる夏の陣 水鉄砲大作戦

指令36 10月 えどまる王国大運動会

指令37 11月 落ち葉プール

指令 38	1 2 月	風雲えどまる城決戦 小出ヶ原の巻
指令 39	平成 2 0 年 1 月	大カルタ大会
指令 40	2 月	風雲えどまる城〈冬の陣〉
指令 41	3 月	えどまる本舗—商人の血

#### 1 4 常設展クイズラリー

ラリーシートを手に常設展示室にある 8 カ所のラリーポイントをまわってクイズに答えた後、会議室で答えあわせと解説を実施。

名称	「2008 年 江戸博でお正月!! 特別企画 常設展クイズラリー」	
期間	平成 2 0 年 1 月 2 日～1 月 6 日（5 日間開催）	
場所	常設展示室	・解説会場 会議室
参加人数	5, 2 1 6 人（解説 2 0 6 人）	

#### 1 5 両国協力会等による地域活性化の推進

両国協力会は、両国を地盤とする地元企業、施設が、両国の活性化と未来の両国を考え、さまざまな活動を展開していく自主的な任意団体である。両国の魅力を多くの人に伝えるため、平成 1 8 年度は、国技館通り、国技館、回向院、江戸東京博物館 3 F ひろばなどでの「両国にぎわい春祭り」開催と周辺のお食事処を掲載した「両国にぎわいマップ」を制作した。

##### (1) 両国協力会構成団体

東京水辺ライン、J R 両国駅、都営大江戸線両国駅、第一ホテル両国、回向院、東京東信用金庫、パールホテル両国、国技館サービス、日本相撲協会、両国アクアハウス江戸遊、ザ・ホテル ベルグランド、チムニー、東京都江戸東京博物館

##### (2) 第 5 回両国にぎわい春祭り

期 日	平成 1 9 年 5 月 5 日(土・祝)～5 月 6 日(日)
会 場	国技館通り、国技館、回向院、江戸東京博物館 3 階ひろば
主 催	両国にぎわい祭り実行委員会、両国協力会
後 援	墨田区、墨田区文化観光協会、読売新聞 東京本社
	特別協賛は削除
協 賛	東京東信用金庫、アサヒビール株式会社、鹿島建設株式会社、ライオン株式会社、チムニー株式会社、株式会社新藤、日本通運、株式会社隅田川グローバル・ロジスティクス支店
協 力	総合警備保障株式会社、日通航空、株式会社伊藤園、株式会社ムラヤマ、ちゃんこ道場、両国連合町会、千歳連合町会、国技館通り商店会
内 容	ちゃんこミュージアム、大江戸ダンス、雅楽演奏、相撲体験コーナー、相撲甚句、フリーマーケット、大ガラクタ市、両国ぶらり散歩ツアー、など
入場者	約 6 3, 0 0 0 人

(3) 両国にぎわいマップ制作

制 作 両国協力会  
企画発行 江戸東京博物館  
発行日 平成19年12月  
発行部数 200,000部  
掲載店数 113店舗（うち写真入り39店舗）  
配布場所 JR両国駅・国技館・江戸東京博物館をはじめとする両国協力会各社とマップ掲載店

(4) たてもの園協力会

ボランティアや地元商店の協力により、催事や土曜日曜祝日に飲食のサービスや物販の販売を行った。

16 広報・出版

(1) 本館

種 別	名 称	実 績
館内案内	江戸東京博物館案内パンフレット	日本語版 500,000部 英語版 102,000部 ドイツ語版 5,000部 中国語版 10,000部 ハングル語版 10,000部 スペイン語版 5,000部 フランス語版 11,000部
定期刊行物	江戸東京博物館ニュース	年4回発行 延280,000部
取材対応		489件 ※申請件数に基づき取材対応を行った件数
インターネット ホームページ	日本語版、英語版、中国語版、 ハングル版 キッズサイト	アクセス件数 12,126,389件
メールマガジンの 配信	江戸東京博物館ニューズレター	年12回配信 (19年3月現在) 5,549通
広告の掲載	Jセレクト すみだTOWN情報紙アベニュー 「博物館研究」	年6回掲載 年12回掲載 年9回掲載

(2) 分館

種 別	名 称	実 績
館内案内 ガイド	江戸東京たてもの園 案内リーフレット	約 160,000部
定期刊行物	たてもの園だより	年2回 延 70,000部

【参考】開館からの観覧者数等の実績

年度	5	6	7	8	9	10	11
本館	3,087,065	2,042,040	1,599,808	1,465,362	1,199,943	1,317,964	1,217,624
常設展	2,647,714	1,734,764	1,349,527	1,165,648	989,394	951,756	850,151
特別展	439,351	307,276	250,281	299,714	210,549	366,208	367,473
分館	245,401	161,142	166,540	202,559	169,941	158,234	158,981
合計	3,332,466	2,203,182	1,766,348	1,667,921	1,369,884	1,476,198	1,376,605

年度	12	13	14	15	16	17	18
本館	1,173,473	1,463,642	1,499,051	1,586,603	1,531,097	1,190,458	1,817,934
常設展	835,233	889,188	868,001	1,041,436	860,258	790,066	1,067,226
特別展	338,240	574,454	631,050	545,167	670,839	400,392	750,708
分館	169,486	257,729	272,503	360,094	257,249	265,528	258,167
合計	1,342,959	1,721,371	1,771,554	1,946,697	1,788,346	1,455,986	2,076,101

年度	19
本館	1,537,774
常設展	887,650
特別展	650,124
分館	258,064
合計	1,795,838